

令和 3 年度

尼崎市内事業所の外国人材の活用等
に関する意識調査報告書

令和 4 年 2 月

尼崎市

目次

I 調査概要

1	調査の目的	3
2	調査方法等	3
3	調査項目	4
4	回収結果	4

II 結果概要

1	回答事業所の概要	5
2	人材確保等	8
3	経営課題の解決に向けた事業展開	9
4	職場風土等	10
5	外国人従業員の雇用の有無	12
6	外国人従業員の雇用の現状	13
7	外国人従業員の雇用を開始した主な理由	15
8	外国人従業員雇用後の社内の変化	16
9	外国人従業員の雇用満足度	18
10	今後の外国人従業員の雇用に対する考え方	19
11	外国人従業員の雇用経験及び今後の雇用意向	20
12	「外国人総合相談センター」やその他の施策について	22

III	資料	25
-----	----	----

I 調査概要

1 調査の目的

少子高齢化の進展に伴う労働力人口の減少を受け、中小企業・小規模企業者の人材確保が喫緊の経営課題となっている。そうしたなか、外国人材の就労機会の拡大に向け、平成31年4月に改正入管法が施行されるなど我が国の労働政策は大きく変化しており、今後、中小企業・小規模企業の経営者及び外国人材双方にとって望ましい環境を整備していくことが求められる状況にある。そこで、基礎自治体として採るべき効果的な施策構築に資する統計資料とするため、アンケート調査を実施した。

2 調査方法等

(1) 調査対象

令和元年経済センサス基礎調査において、原則として従業員数50人未満の尼崎市の全事業所から、産業分類別、従業者規模別（企業及び事業所）、本所・支所・単独事業所別に抽出する。なお、今回の調査の趣旨を踏まえ、外国人雇用が相当程度あると考えられる製造業、建設業、卸売・小売業等については、従業員規模の枠を拡充し、合計2,200事業所を調査対象とした。

調査対象事業所数（産業大分類別・規模別）

(件)

	9人以下	10～19人	20～29人	30～49人	50人以上	総計
A 農業・林業	4	0	0	0	0	4
D 建設業	438	121	39	21	7	626
E 製造業	530	205	77	69	36	917
F 電気・ガス・熱供給・水道業	3	1	0	0	0	4
G 情報通信業	21	11	4	3	0	39
H 運輸業	57	35	23	19	14	148
I 卸売業・小売業	22	38	28	17	16	121
L 学術研究、専門・技術サービス	12	5	2	3	2	24
M 宿泊業・飲食サービス業	3	4	2	1	1	11
N 生活関連サービス業、娯楽業	0	2	1	1	1	5
P 医療・福祉	38	45	16	3	2	104
R サービス業	109	62	14	10	2	197
合計	1,237	529	206	147	81	2200

資料：総務省「令和元年経済センサス基礎調査」

(2) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送またはオンラインにて回収

(3) 実施期間

2021年（令和3年）6月から7月

3 調査項目

「回答事業所の概要」8問、「人材確保等について」4問、「経営課題等の解決に向けた事業展開について」7問、「職場風土等について」11問、「外国人従業員の雇用の有無」1問、「外国人従業員雇用の現状について（対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所）」27問、「外国人従業員の雇用意向等について（対象：現在、外国人従業員を雇用していない事業所）」3問、「外国人総合相談センターやその他の施策について」3問

4 回収結果

有効配布数 2,200件 有効回収数 553件 有効回収率 25.1%

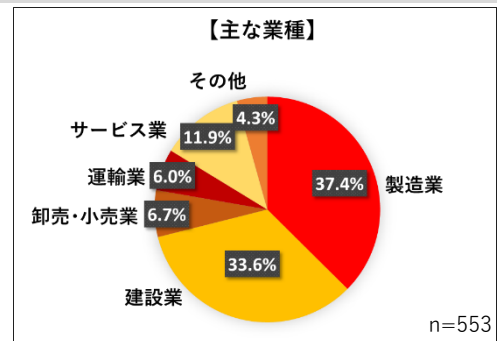
Ⅱ 結果概要

1 回答事業所の概要

(1) 主な業種

(問 1-1 単数回答)

業種は、「製造業」(37.4%)が最も多く、次いで「建設業」(33.6%)が多かった。

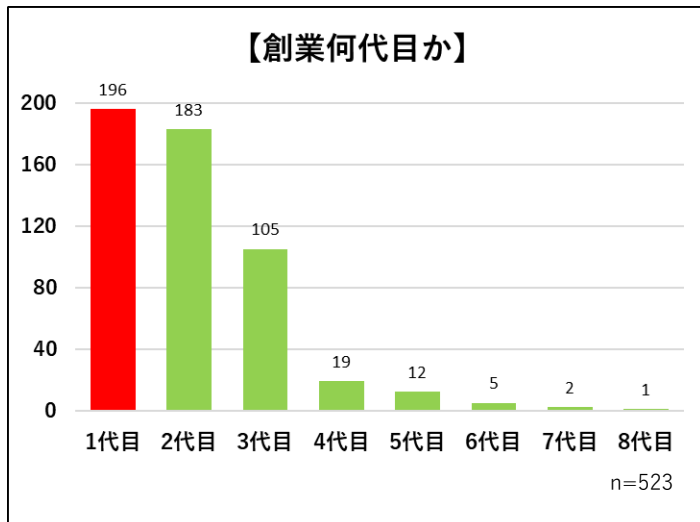
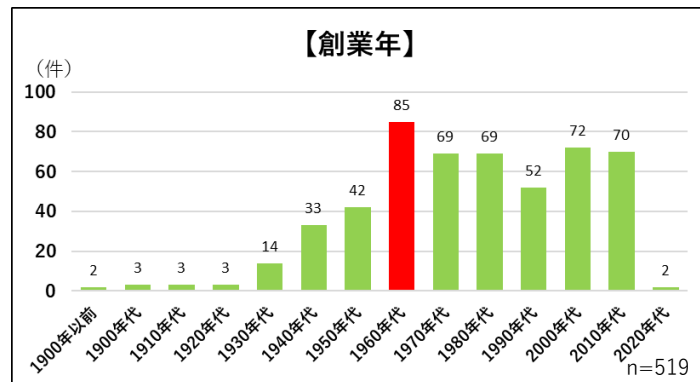


(2) 創業年・創業何代目

(問 1-2 記述回答)

創業年は、「1960年代」(85件)が最も多く、次いで「1970年代」(69件)と「1980年代」(69件)が多かった。

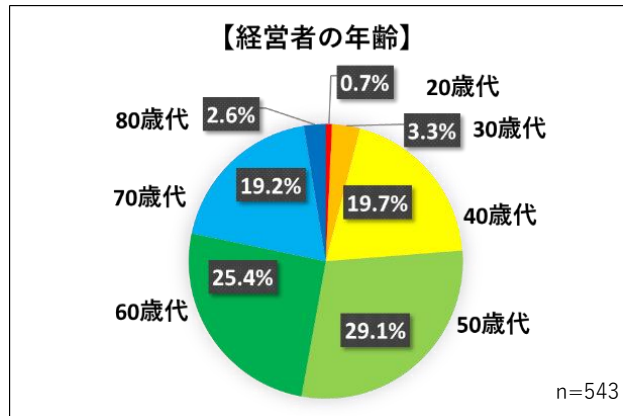
創業何代目かについては、「1代目」(196件)が最も多く、次いで「2代目」(183件)が多かった。



(3) 経営者の年齢

(問 1-3 単数回答)

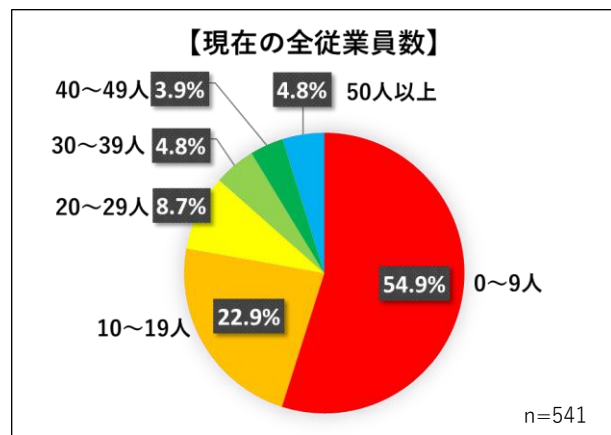
経営者の年齢は、「50 歳代」(29.1%) が最も多く、次いで「60 歳代」(25.4%) 「40 歳代」(19.7%) の順に多かった。「70 歳代」と「80 歳代」の合計は全体の 2 割を超えており、経営者の高齢化が進行している。



(4) 従業員の人数

(問 1-4 記述回答)

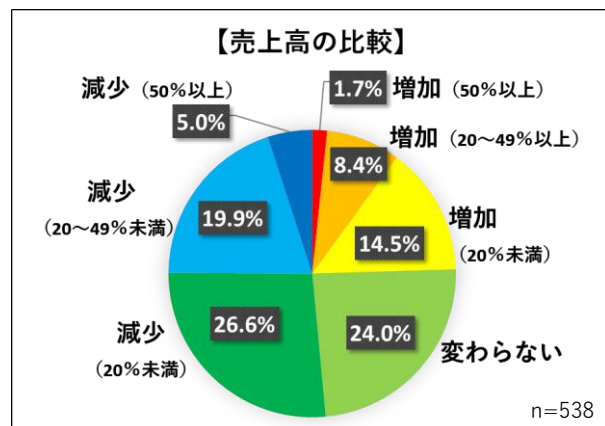
現在の従業員の人数は、「0~9 人」(54.9%) が最も多く、次いで「10~19 人」(22.9%) が多かった。



(5) 売上高の比較

(問 1-5 単数回答)

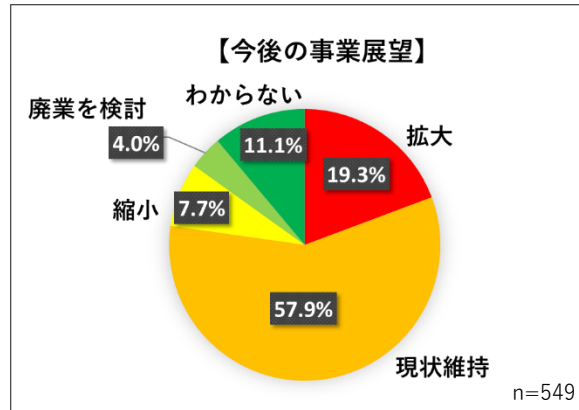
およそ 3 年前と比較した現在の売上高は、「減少 (20%未満)」(26.6%) が最も多く、次いで「変わらない」(24.0%)、「減少 (20~49%)」(19.9%) の順に多かった。減少項目の合計が全体の半数を超えるなど厳しい経営状態にあることが伺える。



(6) 今後の事業展望

(問 1-6 単数回答)

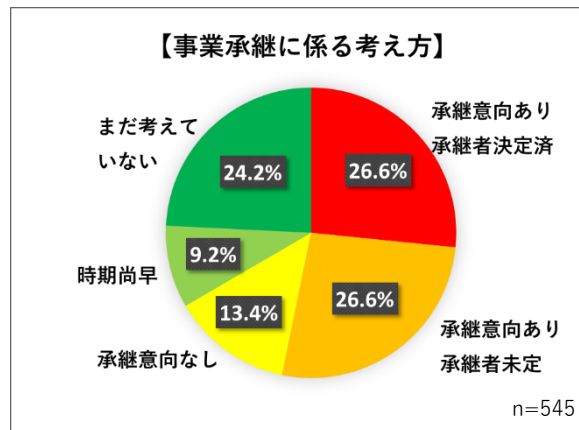
今後（3～5年）の事業展望については、「現状維持」（57.9%）が最も多く、次いで「拡大」（19.3%）、「縮小」（7.7%）の順に多かった。また、「廃業を検討」が4.0%あり、「縮小」と合計すると1割以上の事業所が事業を縮小又は廃業する意向であるという状況であった。



(7) 事業承継

(問 1-7 単数回答)

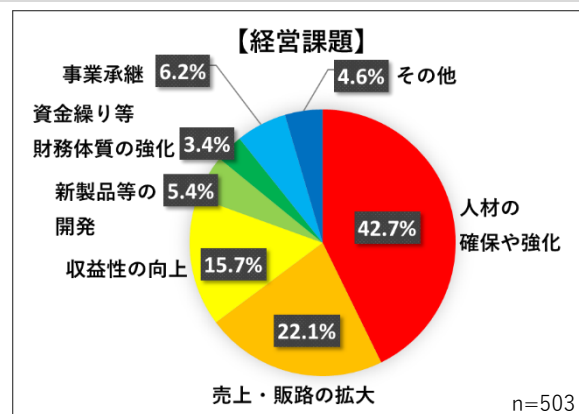
現時点における事業承継については、「承継意向あり・承継者決定済」（26.6%）と「承継意向あり・承継者未定」（26.6%）が同率で最も多かった。一方、「承継意向なし」が13.4%に上り、およそ「7.5社に1社」は承継意向を有していない、という結果であった。



(8) 当面の経営課題

(問 1-8 単数回答)

最も重要な当面の経営課題については、「人材の確保や強化」（42.7%）が最も多く、人手不足の状況が浮き彫りになった。次いで、「売上・販路の拡大」（22.1%）、「収益性の向上」（15.7%）の順に多かった。

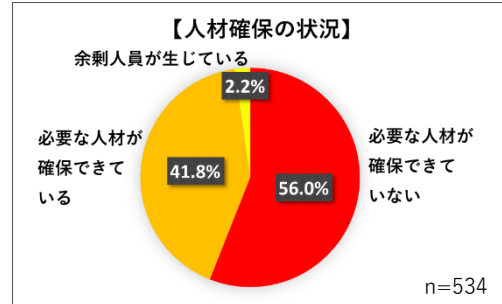


2 人材確保等

(1) 現在の人材確保の状況

(問 2-1 単数回答)

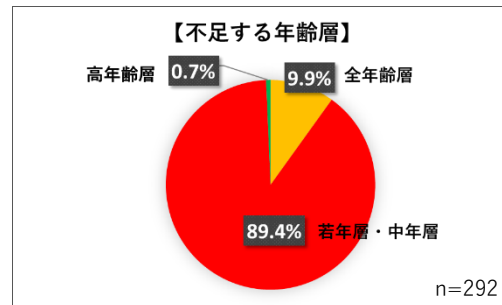
現在の人材確保の状況は、「必要な人材が確保できていない」(56.0%)が最も多く、「必要な人材を確保できている」(41.8%)を上回った。



(2) 不足する年齢層

(問 2-2 単数回答)

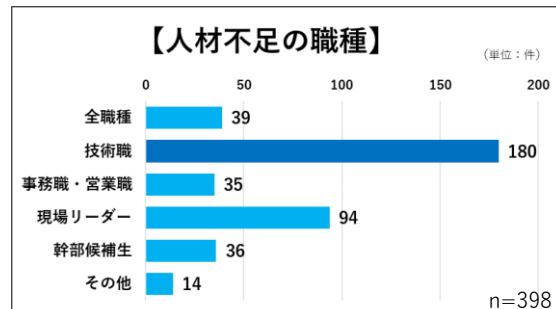
前記問 2-1 で「必要な人材が確保できていない」を選択された方に、不足する年齢層について尋ねたところ、「若年層・中年層」(89.4%)が最も多かった。また、「全年齢層」(9.9%)を選択した回答も全体の1割近くに上った。



(3) 人材不足の職種

(問 2-3 複数回答)

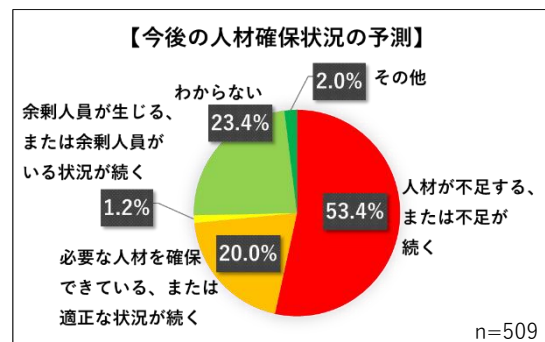
前記問 2-1 で「必要な人材が確保できていない」と回答された方に、不足する職種について尋ねたところ、人材不足の職種については、「技術職」が最も多く、次いで「現場リーダー」、「全職種」の順に多かった。



(4) 今後の人材確保状況の予測

(問 2-4 単数回答)

今後の人材確保状況の予測については、「人材が不足する・または不足が続く」(53.4%)が最も多く、次いで「わからない」(23.4%)が多かった。



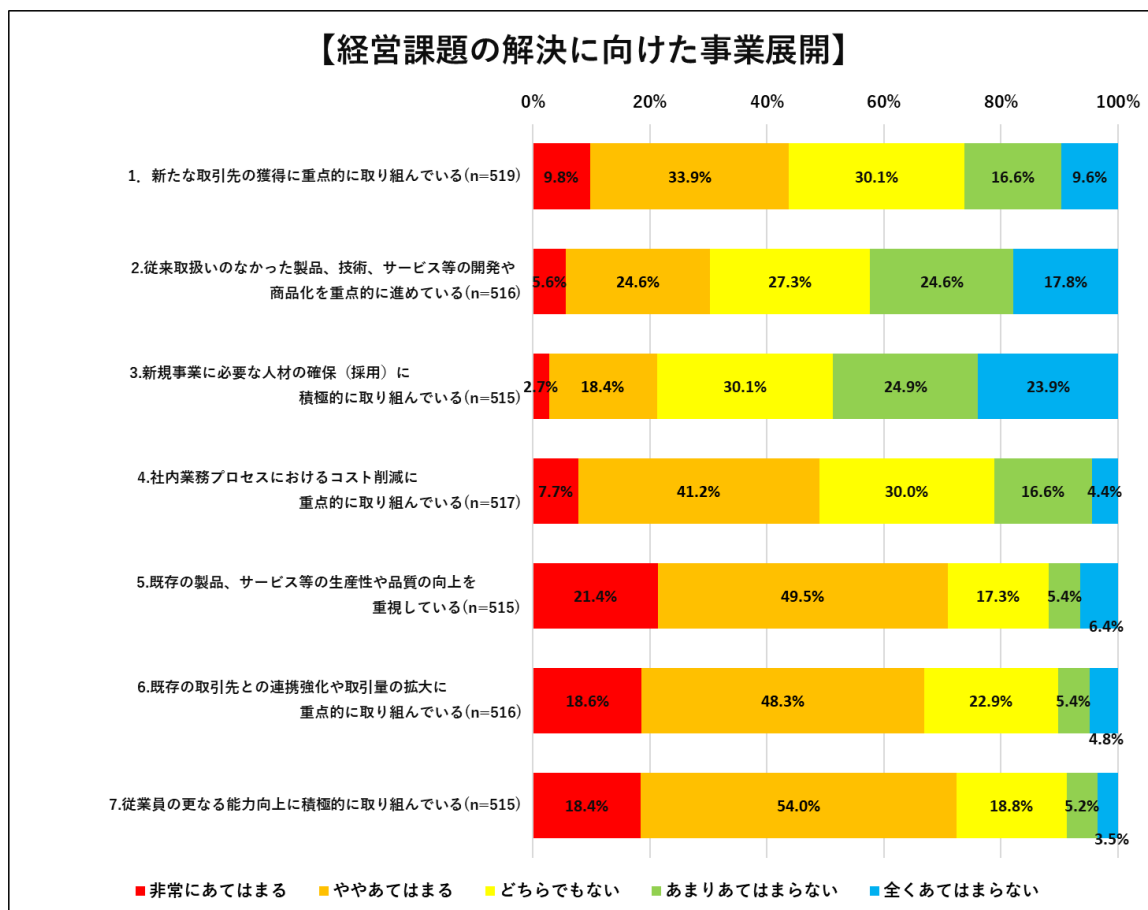
3 経営課題の解決に向けた事業展開

(1)～(7) 経営課題の解決に向けた事業展開

(問 3-1～7 単数回答)

経営課題の解決に向けた事業展開について経営者の取組姿勢を尋ねたところ、「既存の製品、サービス等の生産性や品質の向上を重視している」、「従業員の更なる能力向上に取り組んでいる」の項目は、「非常にあてはまる」及び「ややあてはまる」と回答された割合が70%を超える結果となった。

一方、「従来取扱いのなかった製品、技術、サービス等の開発や商品化を重点的に進めている」及び「新規事業に必要な人材の確保（採用）に積極的に取り組んでいる」の項目については、「どちらでもない」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答された割合が約70%～80%を占める結果となった。

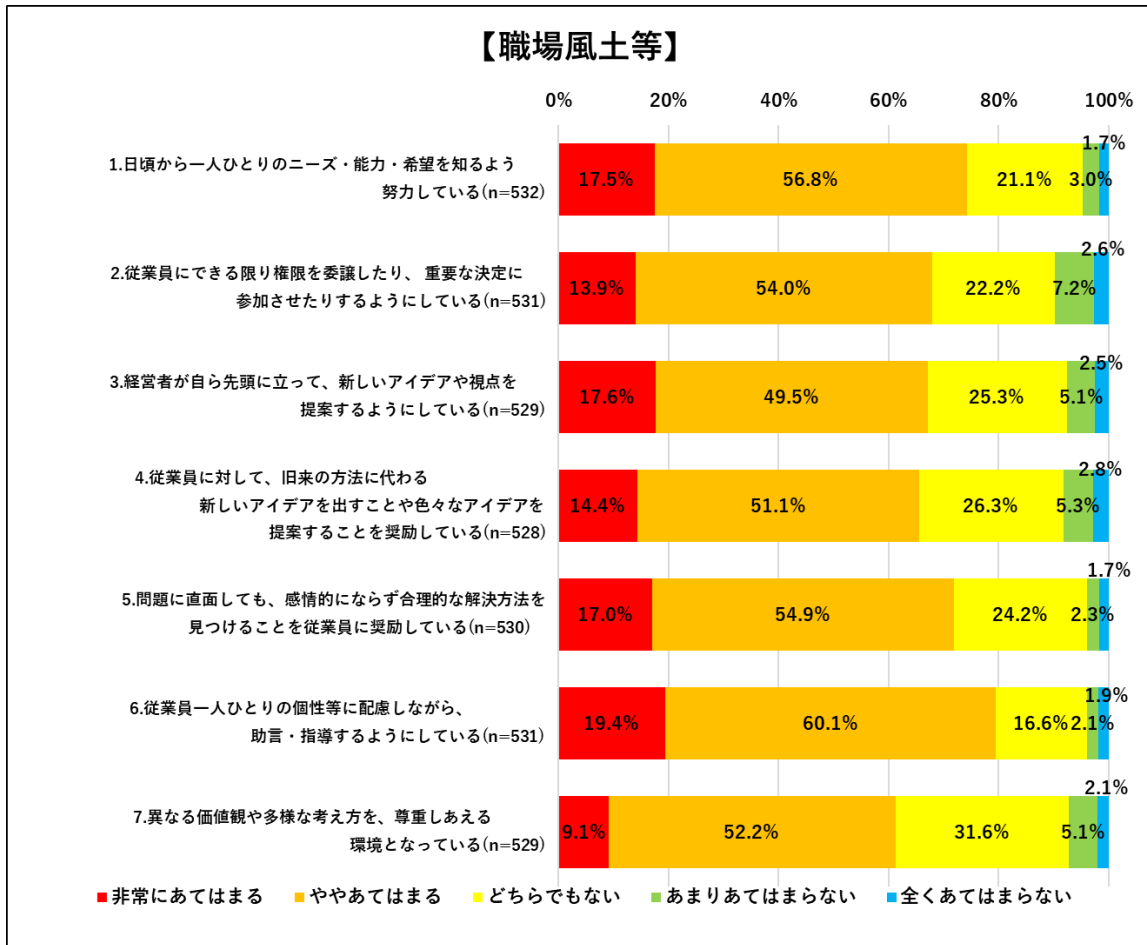


4 職場風土等

(1)～(7) 職場風土等

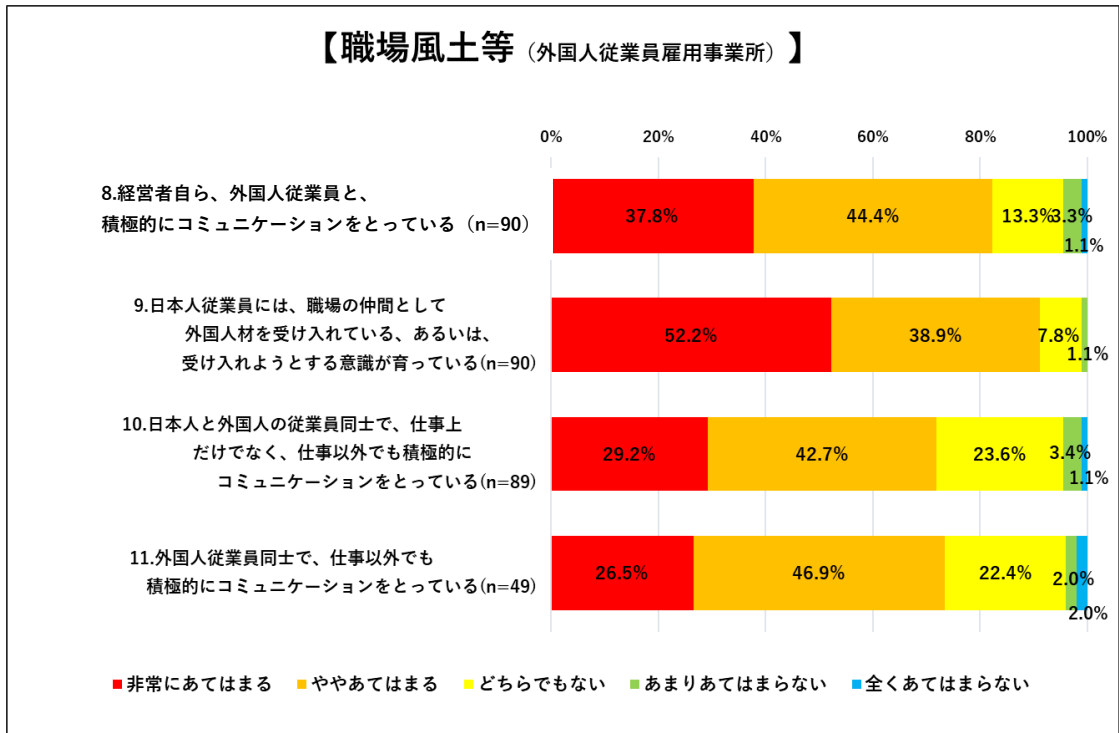
(問 4-1～7 単数回答)

職場風土の改善に向けた経営者の取組姿勢について尋ねたところ、いずれの項目においても、「非常にあてはまる」及び「ややあてはまる」と回答された割合が、60%以上を占めており、経営者は良好な職場風土の構築に努めていることがうかがえる結果となった。



(8)～(11) 職場風土等 (外国人従業員雇用事業所のみ回答) (問 4-8～11 単数回答)

外国人従業員雇用事業所におけるコミュニケーションについては、いずれの項目においても「非常にあてはまる」及び「あてはまる」と回答された割合が70%以上を占めており、経営者が外国人従業員との積極的なコミュニケーションをとろうとする姿勢がうかがえる結果となった。



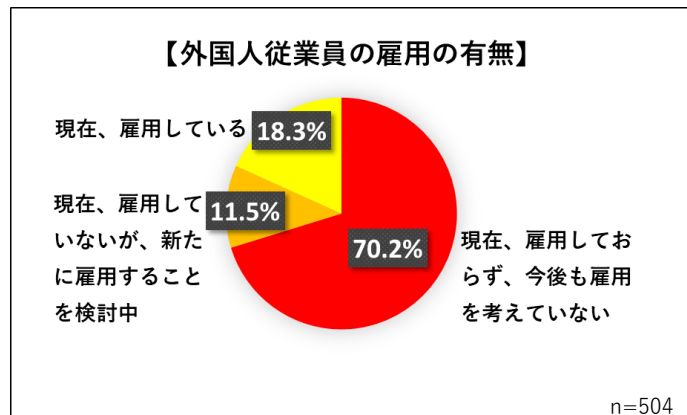
5 外国人従業員の雇用の有無

(1) 外国人従業員の雇用の有無

(問 5-1 単数回答)

外国人従業員の雇用の有無については、「現在、雇用しておらず、今後も雇用を考えていない」(70.2%) が最も多かった。

次いで「現在、雇用している」(18.3%) の回答が多く、およそ「5.5 社に 1 社」の割合で外国人従業員を雇用しているという結果になった。

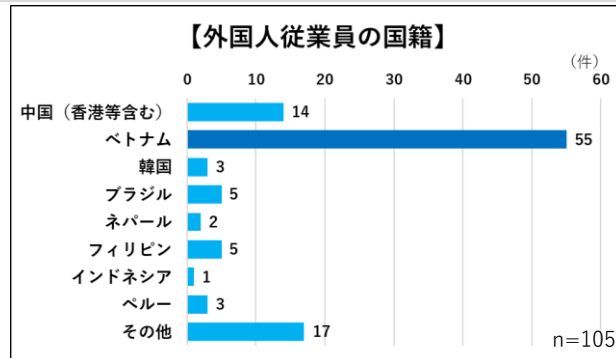


6 外国人従業員の雇用の現状 (対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所)

(1) 外国人従業員の国籍

(問 6-1 複数回答)

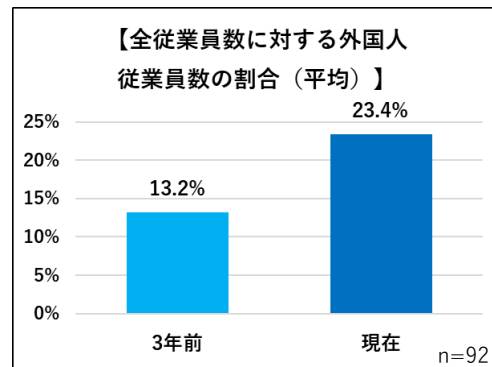
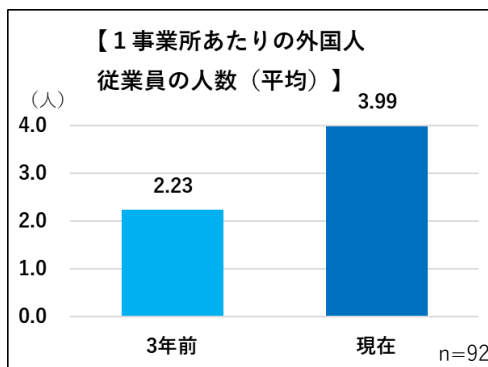
雇用する外国人従業員の国籍は、「ベトナム」(55件)が最も多く、次いで「中国(香港等含む)」(14件)が多かった。



(2) 外国人従業員数の推移

(問 6-2 記述回答)

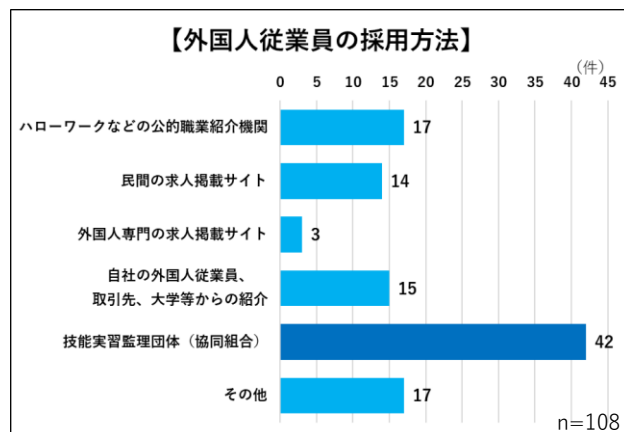
1事業所あたりの外国人従業員数(平均)は、およそ3年前の2.23人に比べ、現在は3.99人に増加し、1事業所あたりの全従業員数に対する外国人従業員数の割合(平均)は、およそ3年前の13.2%に比べ、現在は23.4%に増加している。



(3) 外国人従業員の採用方法

(問 6-3 複数回答)

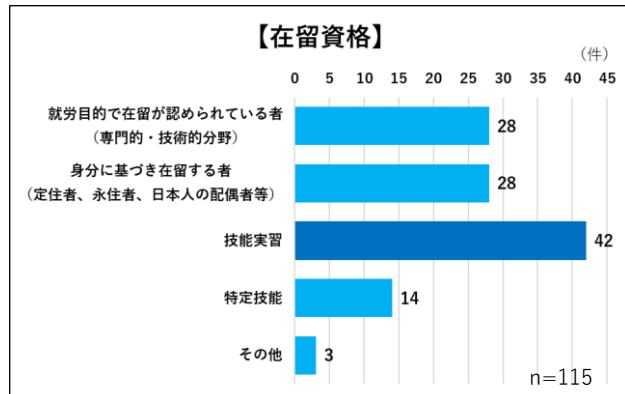
外国人従業員の採用方法(ルート)は、「技能実習監理団体」(42件)が最も多く、次いで「ハローワークなどの公的職業紹介機関」(17件)、「自社の外国人従業員、取引先、大学等からの紹介」(15件)の順が多かった。



(4) 外国人従業員の在留資格

(問 6-4 複数回答)

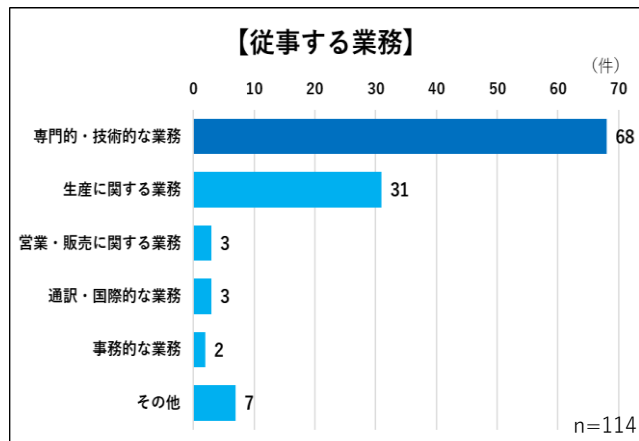
外国人従業員の在留資格は、「技能実習」(42件)が最も多く、次いで「身分に基づき在留する者(定住者、永住者、日本人の配偶者等)」(28件)「就労目的で在留が認められている者(専門的・技術的分野)」(28件)「特定技能」(14件)が多かった。



(5) 外国人従業員が従事する業務

(問 6-5 複数回答)

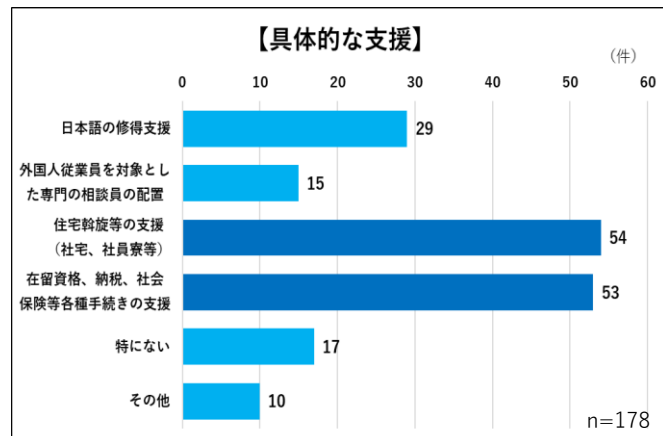
外国人従業員が従事する業務は、「専門的・技術的な業務」(68件)が最も多く、次いで「生産に関する業務」(31件)が多かった。



(6) 外国人従業員への具体的な支援

(問 6-6 複数回答)

外国人従業員への具体的な支援は、「住宅斡旋等の支援(社宅、社員寮等)」(54件)が最も多く、次いで「在留資格、納税、社会保険等各種手続きの支援」(53件)が多かった。



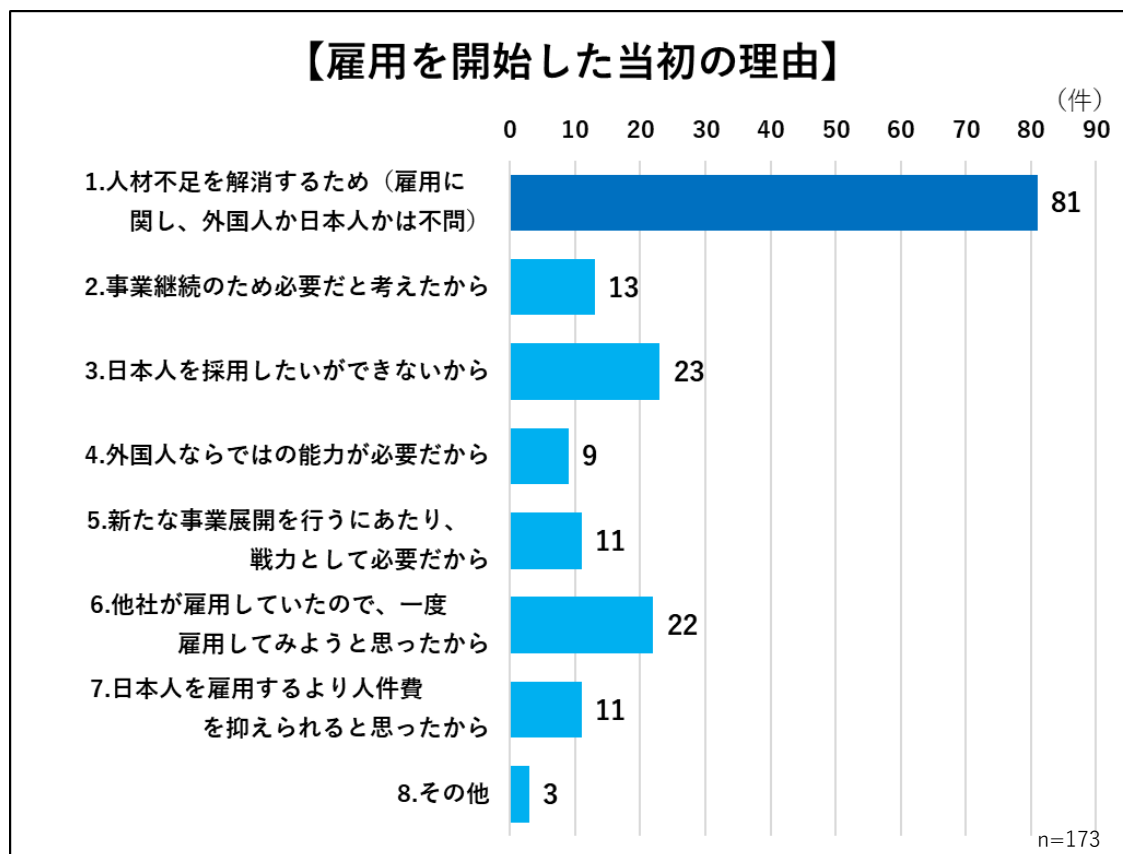
7 外国人従業員の雇用を開始した主な理由

(対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所)

(1) 外国人従業員の雇用を開始した当初の主な理由

(問 7-1 複数回答)

外国人従業員の雇用を開始した当初の主な理由は、「人材不足を解消するため（雇用に関し、外国人か日本人かは不問）」(81 件) が最も多く、次いで「日本人を採用したいができないから」(23 件)、「他社が雇用していたので、一度雇用してみようと思ったから」(22 件) の順に多かった。



8 外国人従業員雇用後の社内の変化

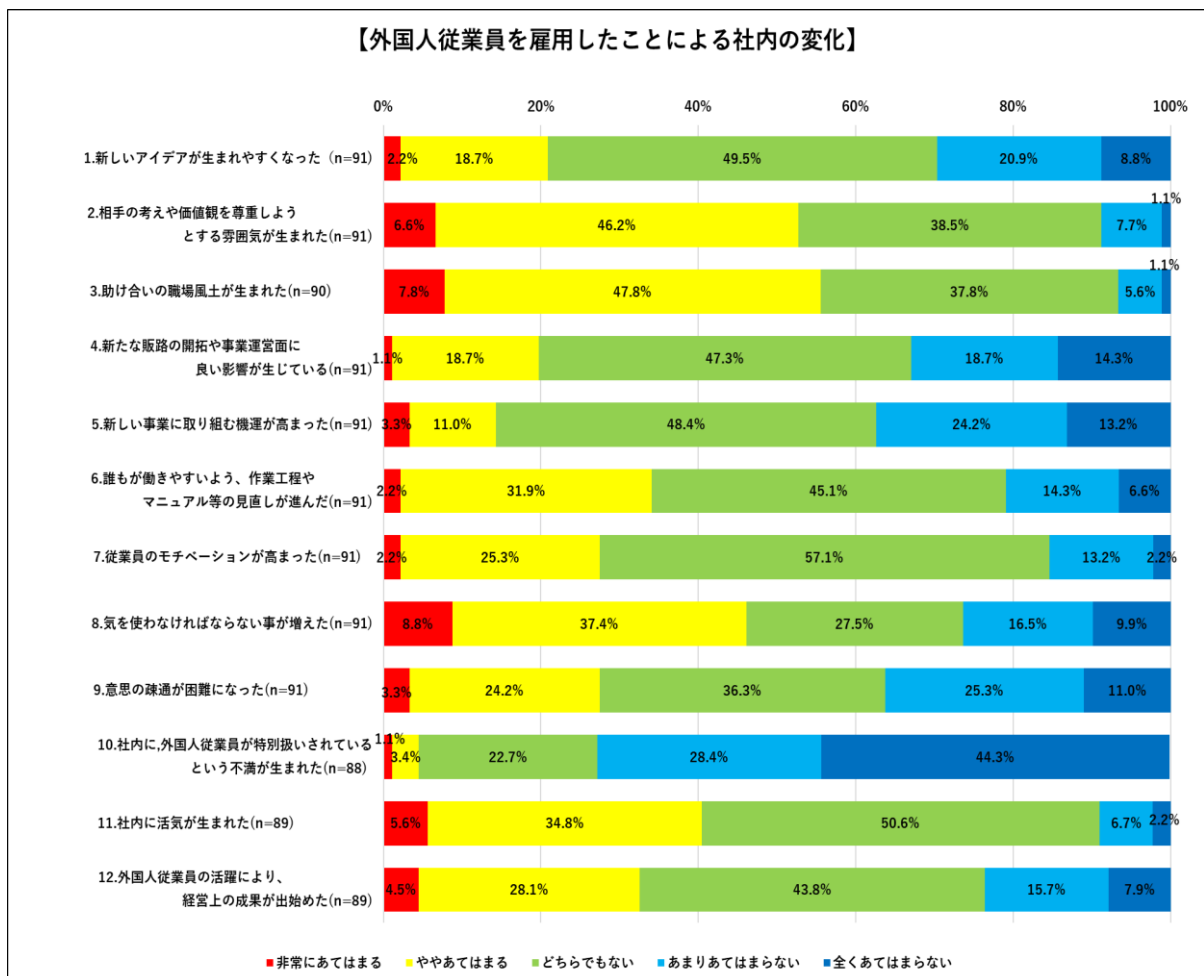
(対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所)

(1)～(12) 外国人従業員雇用後の社内の変化

(問 8-1～12 単数回答)

外国人従業員を雇用したことによる社内の変化について尋ねたところ、「相手の考えや価値観を尊重しようとする雰囲気生まれた」「助け合いの職場風土生まれた」の項目は、「非常にあてはまる」及び「ややあてはまる」と回答された割合が約 50%を占める結果となった。

一方、「意思の疎通が困難になった」や「社内に外国人従業員が特別扱いされているという不満が生まれた」といったマイナス項目において「非常にあてはまる」及び「ややあてはまる」と回答された割合は約 5%～9%と少数であった。



【自由記述欄へのご意見（抜粋）】

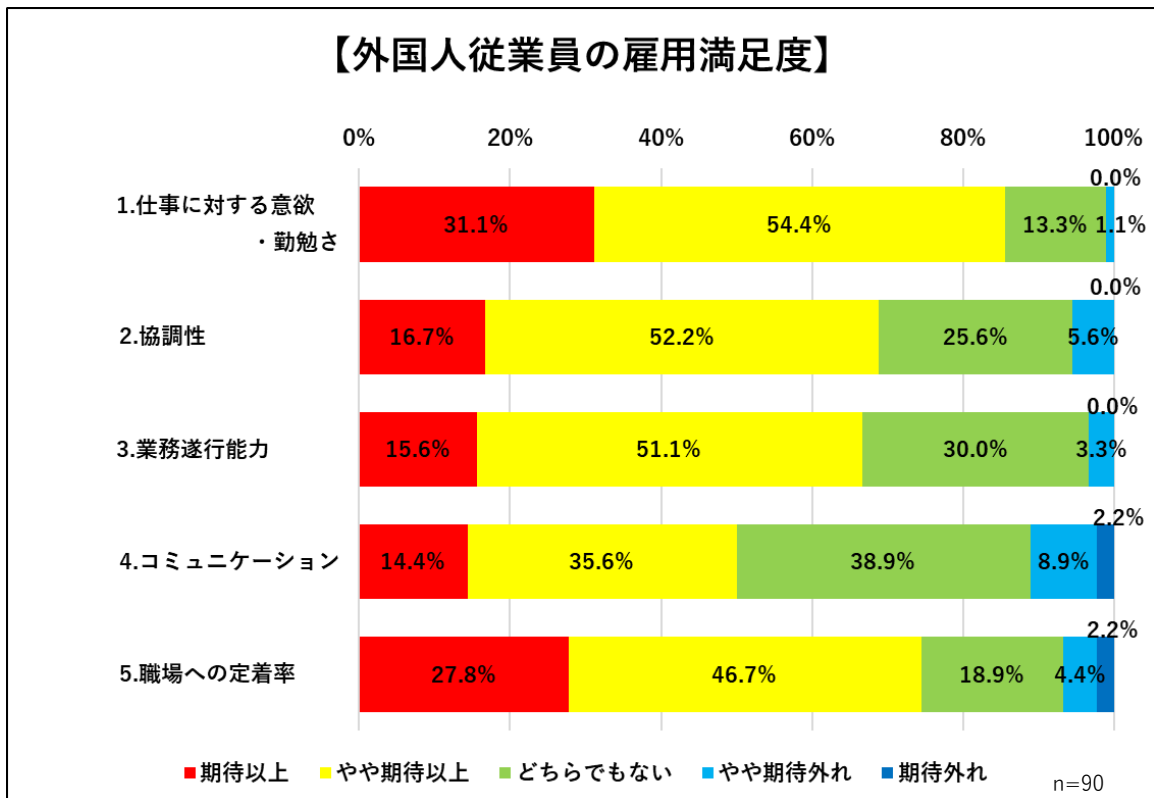
- 社内小集団活動（危険予知訓練他）が活性化した。教える立場になり、基本に戻ること
で再学習が進んだ。言葉以外のコミュニケーション力のアップ（動作・演習など）
がみられた。
- 平均年齢が高いので、若い（20～22 歳）彼らは素直でよく働きます。
- 固定観念が消えた。非常によく働いている。
- 本人の能力により変化があったかと思いますが、それが外国人だから・・・という理
由にあてはまらない。
- 日本人とは違い、勤勉であると感じています。知らないうちに、語学勉強もできる状
況になっています。

9 外国人従業員の雇用満足度 (対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所)

(1)～(5) 外国人従業員の雇用満足度

(問 9-1～5 単数回答)

外国人従業員の雇用満足度については、「仕事に対する意欲・勤勉さ」で85%以上が「期待以上・やや期待以上」を選択し、「職場への定着率」についてもおよそ75%が「期待以上・やや期待以上」と回答されており、経営者の雇用満足度は高い評価となった。



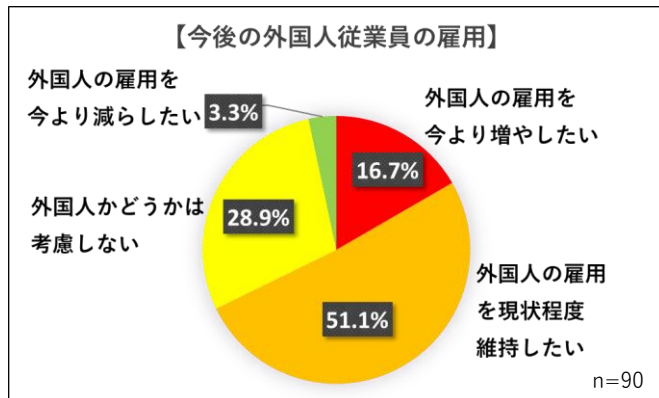
10 今後の外国人従業員の雇用に対する考え方

(対象：現在、外国人従業員を雇用している事業所)

(1) 今後の外国人従業員の雇用に対する考え方

(問 10-1 単数回答)

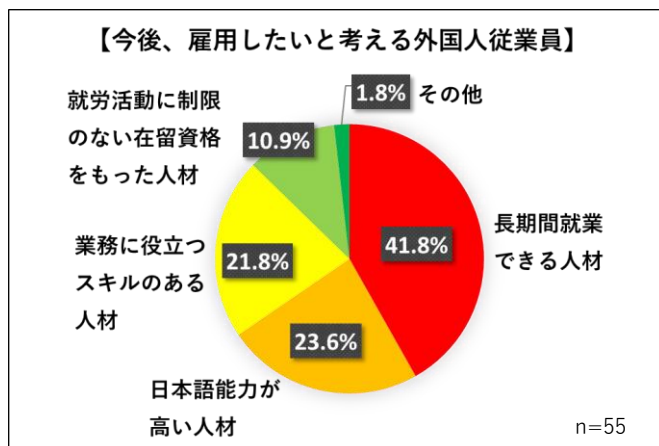
今後の外国人従業員の雇用に対する考え方については、「外国人の雇用を現状程度維持したい」(51.1%)が最も多く、次いで「外国人かどうかは考慮しない」(28.9%)が多かった。



(2) 今後、雇用したいと考える外国人従業員

(問 10-2 単数回答)

上記問 10-1 で「外国人の雇用を今より増やしたい」又は「外国人の雇用を現状程度は維持したい」を選択した方のみに、今後、雇用したいと考える外国人従業員について尋ねたところ、「長期間就業できる人材」(41.8%)が最も多く、次いで「日本語能力が高い人材」(23.6%)、「業務に役立つスキルのある人材」(21.8%)の順に多かった。



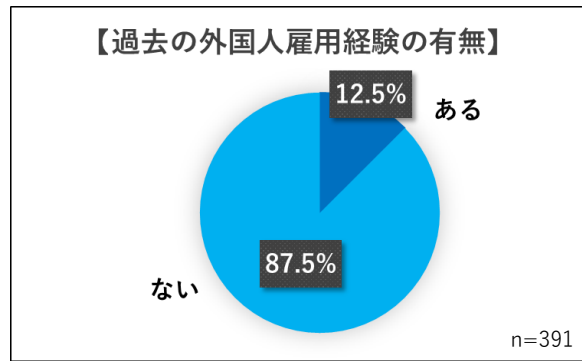
11 外国人従業員の雇用経験及び今後の雇用意向

(対象：「現在、外国人従業員を雇用していない事業所」又は「現在、雇用していないが、新たに雇用することを検討中の事業所」)

(1) 過去の外国人雇用経験の有無

(問 11-1 単数回答)

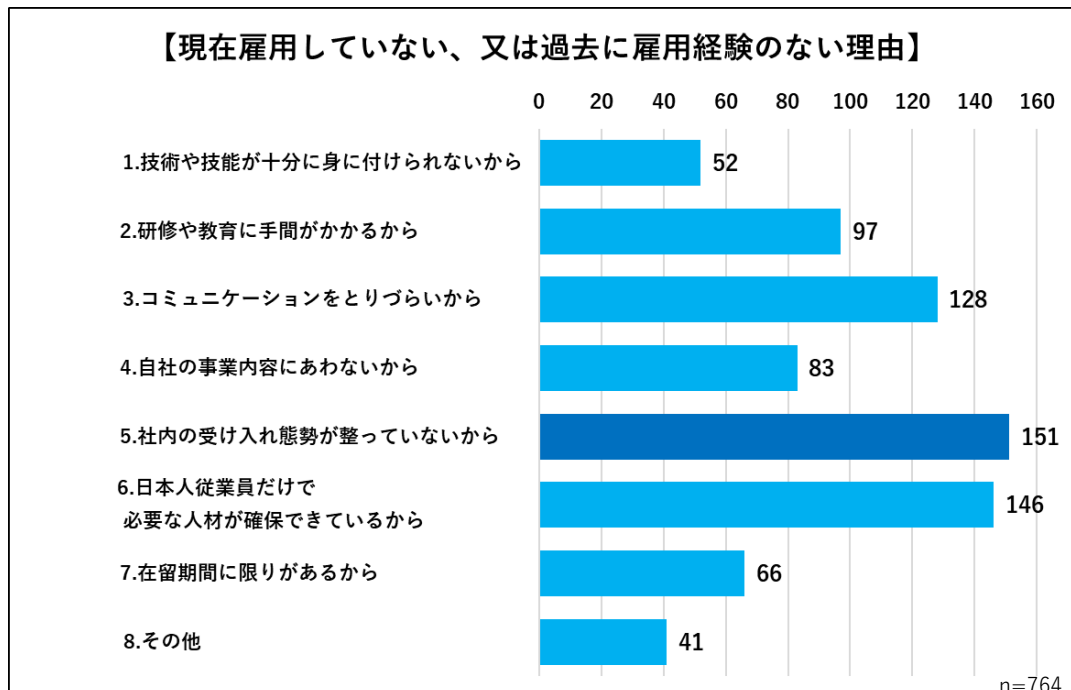
前記問 5 で「現在雇用しておらず、今後も雇用を考えていない」又は「現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中」を選択された方のみに、過去の外国人雇用経験の有無を尋ねたところ、過去に雇用していたことが「ある」を選択した回答が 12.5%、「ない」を選択した回答が 87.5% だった。



(2) 外国人従業員を雇用していない理由

(問 11-2 複数回答)

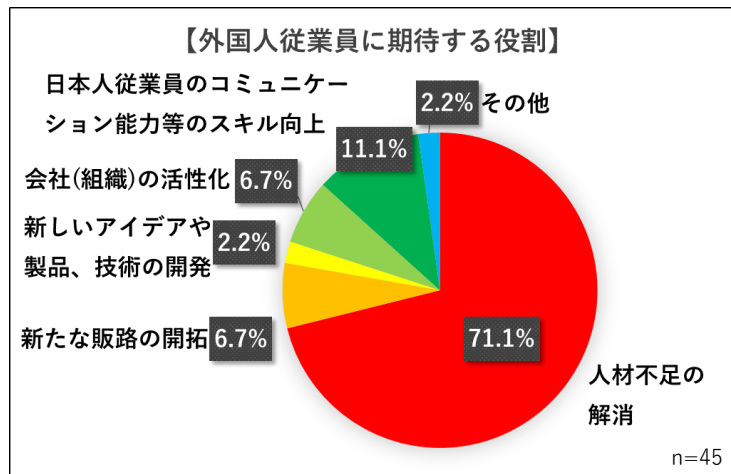
前記問 5 で「現在雇用しておらず、今後も雇用を考えていない」又は「現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中」を選択された方のみに、現在外国人従業員を雇用していない理由を尋ねたところ、「社内の受け入れ態勢が整っていないから」(151 件) が最も多く、次いで「日本人従業員だけで必要な人材が確保できているから」(146 件)、「コミュニケーションをとりづらいから」(128 件) が多かった。



(3) 外国人従業員に期待する役割

(問 11-3 単数回答)

前記問 5 で「現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中」と回答された方のみ、外国人従業員に期待する役割について尋ねたところ、「人材不足の解消」が 7 割以上で最も多く、次いで「日本人従業員のコミュニケーション能力等のスキル向上」(11.1%)が多かった。

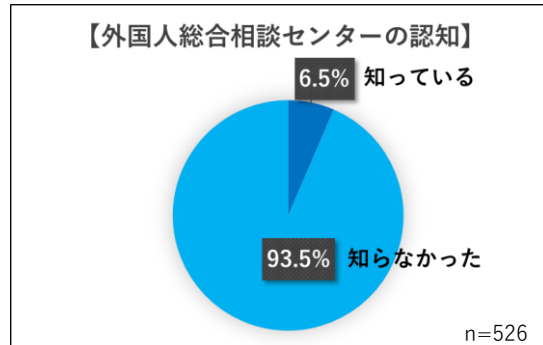


12 「外国人総合相談センター」やその他の施策について

(1) 「外国人総合相談センター」の認知の有無

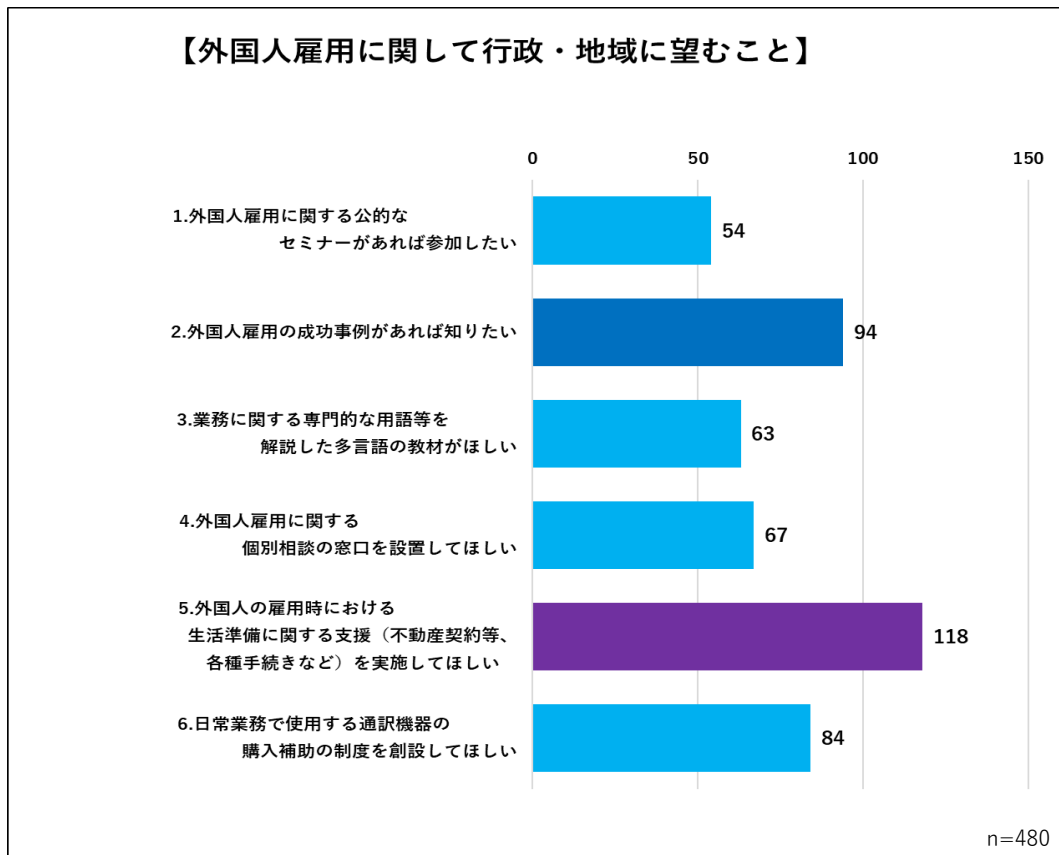
(問 12-1 単数回答)

令和3年5月10日に尼崎市に設置された「外国人総合相談センター」の認知については、「知っている」を選択した回答が6.5%、「知らなかった」の回答が93.5%だった。



(2) 経営者として外国人雇用に関して行政・地域に望むこと (問 12-2 複数回答)

経営者として外国人雇用に関して行政・地域に望むことについては、「外国人の雇用時における生活準備に関する支援(不動産契約等、各種手続きなど)を実施してほしい」(118件)が最も多く、次いで「外国人雇用の成功事例があれば知りたい」(94件)、「日常業務で使用する通訳機器の購入補助の制度を創設してほしい」(84件)の順に多かった。



(3) 外国人材の活用に関する課題・問題点、その他要望等 (問 12-3 記述回答)

【自由記述欄へのご意見 (抜粋)】

- 外国の技能実習生受け入れ準備のため、住居の賃貸契約時、外国人の入居を拒む家主が多く苦勞した。やっと決まったら、コロナ影響にて実習生が入国できず、空家賃を払い続けている状態である。国は、外国人材の活用を促しているわりに矛盾しているように思います。
- 言葉の問題や生活習慣が違うところもあると思いますので、どこまで理解していけるのかが不安であります。
- 留学生を一人雇っていますので言葉の問題はありません。日本で長く働けるようになりましたら有り難いです。
- 業種によっては外国人雇用は不可欠と思いますが、弊社のようなドライバーを持たない運送業では無理があります。全国の土地勘や所要時間など日本人でも中々難しいです。私の家内も中国人なので興味はありますが、現在の状況では難しいです。違った意味で応援はしようと思っています。
- 真面目な方には公私ともにサポートできる体制を作って欲しい。そうでない方にはきびしい対応をしてほしい。不法滞在や犯罪が増えるようでは困ります。
- 資格を取得する際に、多言語でも受験できるようにしてほしい。教材などについても、多言語を用意していただきたい。
- 介護の場合、無資格だと条件がキツイ。また雇用の人数の制限がある。
- 弊社は特殊技量を必要とするので、業種に応じた情報があれば…。
- 当社は定型外業務が多く、その都度、指示、伝達などコミュニケーションに不安があり、雇用が難しい。
- B to B 配送において、荷主及び配達先のルールが統一されていない現状では(同一企業内でも)、ドライバーのスキルが重要不可欠で、時には現場での状況を的確に連絡しないとイケない。日本人でも難しい事を外国の方にお問い合わせ出来ません。
- 技術職が主な職場なので、長期間働いてもらわないと技術が身に付かない。
- 自動車運転免許の取得が非常に困難。
- ベトナムからの旅費、在留手続きを済ませて、1カ月も経過した後退職する人が多い。退職する時に会社規定も守らず、本人が退職したいとの報告後、即、国へ帰国する！！
- 外国人雇用について。大手ゼネコンでは外国人の現場入場を拒否されます。でもゼネコンのほうでは外国人を雇用されています。いろいろな面で、大手ゼネコンのやりたいほうだいで、私たちはさからうことができません。
- 低賃金労働者確保が実際の目的であり、グローバル化や発展途上国との交流を主にした制度でないとなすすまらず日本は取り残される。

- 言葉の壁が最も障壁になることが想定される。通訳できる人材もセットで必要となる。あとは信用の問題。配合レシピなど企業秘密の多い職場なので。ただ、将来的に3K職場の人手不足が予想され、必要となる日が来るかと思う。
- 従業員とのコミュニケーション、利用者様とのコミュニケーション能力が何よりも課題。逆に外国語を話す高齢者が増加してくることが予測できるので、ニーズはふえるかもしれない。
- 当社の業務は電氣的な専門知識が必要で、量産品でなく特注品を扱う事が多く、時間をかけて技術を教育しても、将来自国に帰国してしまうのではないかとの不安な印象もあり、困惑している所がございます。
- 家族で安心して住めるように、学校で海外のESLのようなクラスを設置すべき。
- どこに募集を出せばいいかわからない。外国人募集を行う場所を作って欲しい。
- 現在、外国人の雇用にあたり支援している団体や企業が多くあると思います。一般的にはそういった団体などからの斡旋がないと外国人の雇用には繋がらないと思います。ちゃんとした団体なのか不明な点が多く、安心して雇用を考える事が出来ません。行政が取りまとめるか、仲介するシステムが必要と思います。
- 外国人雇用について無知なのですが関心はあります。雇用のガイドライン等、将来の人材不足に備えて会社継続・発展の一つの手段として学習したいと思います。
- 日本で仕事をする以上は通訳などなしで、最低でも日常会話以上のレベルでないと、会社負担が大きくなり外国人材の雇用には繋がっていかないと考えます。日本で仕事をするにあたり、契約書も理解できない人材が多いのは世界でも日本ぐらいではありませんか？
- 日本語語学試験を受験する為の、受験費用及び試験会場への交通費用の補助があれば助かります。

Ⅲ 資料

【調査票及び単純集計結果】

1. 貴社の状況についてお伺いします。

(1) 主な業種は何ですか。(複数の事業を営んでいる場合には、売上高が最も多いもの1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	製造業	207	36.9%	37.4%
2	建設業	186	33.2%	33.6%
3	卸売・小売業	37	6.6%	6.7%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0.0%
5	運輸業	33	5.9%	6.0%
6	サービス業	66	11.8%	11.9%
7	その他	24	4.3%	4.3%
	無回答	8	1.4%	
	N (%ベース)	561	100.0%	

(2)-1 創業年は西暦何年ですか。

創業年代	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1900年以前	2	0.4%	0.4%
1900年代	3	0.5%	0.6%
1910年代	3	0.5%	0.6%
1920年代	3	0.5%	0.6%
1930年代	14	2.5%	2.7%
1940年代	33	6.0%	6.4%
1950年代	42	7.6%	8.1%
1960年代	85	15.4%	16.4%
1970年代	69	12.5%	13.3%
1980年代	69	12.5%	13.3%
1990年代	52	9.4%	10.0%
2000年代	72	13.0%	13.9%
2010年代	70	12.7%	13.5%
2020年代	2	0.4%	0.4%
無回答	34	6.1%	
N (%ベース)	553	100.0%	

(2)-2 現在の経営者は創業何代目ですか。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	1代目	196	35.4%	37.5%
2	2代目	183	33.1%	35.0%
3	3代目	105	19.0%	20.1%
4	4代目	19	3.4%	3.6%
5	5代目	12	2.2%	2.3%
6	6代目	5	0.9%	1.0%
7	7代目	2	0.4%	0.4%
8	8代目	1	0.2%	0.2%
	無回答	30	5.4%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(3) 経営者（代表者）の年齢は何歳代ですか。（1つに〇印）

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	20歳代	4	0.7%	0.7%
2	30歳代	18	3.3%	3.3%
3	40歳代	107	19.3%	19.7%
4	50歳代	158	28.6%	29.1%
5	60歳代	138	25.0%	25.4%
6	70歳代	104	18.8%	19.2%
7	80歳代以上	14	2.5%	2.6%
	無回答	10	1.8%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(4) 従業員は何人ですか。※役員を除く、常時使用する従業員数。パート・アルバイト等の雇用形態や国籍は問いません。

現在の従業員数	件数	% (全体)	% (無回答除く)
0～9人	297	53.7%	54.9%
10～19人	124	22.4%	22.9%
20～29人	47	8.5%	8.7%
30～39人	26	4.7%	4.8%
40～49人	21	3.8%	3.9%
50人以上	26	4.7%	4.8%
無回答	12	2.2%	
N (%ベース)	553	100.0%	

(5) およそ3年前と比較して、現在の売上高はいかがですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	増加 (50%以上)	9	1.6%	1.7%
2	増加 (20~49%以上)	45	8.1%	8.4%
3	増加 (20%未満)	78	14.1%	14.5%
4	変わらない	129	23.3%	24.0%
5	減少 (20%未満)	143	25.9%	26.6%
6	減少 (20~49%未満)	107	19.3%	19.9%
7	減少 (50%以上)	27	4.9%	5.0%
	無回答	15	2.7%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(6) 今後(3~5年)の事業展望はいかがですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	拡大	106	19.2%	19.3%
2	現状維持	318	57.5%	57.9%
3	縮小	42	7.6%	7.7%
4	廃業を検討	22	4.0%	4.0%
5	わからない	61	11.0%	11.1%
	無回答	4	0.7%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(7) 貴社の事業の承継について現時点ではどのようにお考えですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	承継意向あり (承継者決定済)	145	26.2%	26.6%
2	承継意向あり (承継者未定)	145	26.2%	26.6%
3	承継意向なし	73	13.2%	13.4%
4	時機尚早	50	9.0%	9.2%
5	まだ考えていない	132	23.9%	24.2%
	無回答	8	1.4%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(8) 現在、貴社において最も重要な当面の経営課題は何ですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	人材の確保や強化	215	37.3%	42.7%
2	売上・販路の拡大	111	19.3%	22.1%
3	収益性の向上	79	13.7%	15.7%
4	新製品・新サービス・新事業の 開発	27	4.7%	5.4%
5	資金繰り等財務体質の強化	17	3.0%	3.4%
6	事業承継	31	5.4%	6.2%
7	その他	23	4.0%	4.6%
	無回答	73	12.7%	
	N (%ベース)	576	100.0%	

2. 貴社の人材確保等についてお伺いします。

(1) 現在の人材確保の状況はどのようになっていますか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	必要な人材が確保できていない	299	54.1%	56.0%
2	必要な人材が確保できている	223	40.3%	41.8%
3	余剰人員が生じている	12	2.2%	2.2%
	無回答	19	3.4%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(2) (1)で「1 必要な人材が確保できていない」と回答された方に、お伺いします。どの年齢層が不足していますか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	全年齢層	29	9.7%	9.9%
2	若年層・中堅層	261	87.3%	89.4%
3	高年齢層	2	0.7%	0.7%
	無回答	7	2.3%	
	N (%ベース)	299	100.0%	

(3) (1)で「1 必要な人材が確保できていない」と回答された方に、お伺いします。どのような人材が不足していますか。(該当するもの全てに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	全職種	39	9.7%	9.8%
2	技術職	180	44.7%	45.2%
3	事務職・営業職	35	8.7%	8.8%
4	現場リーダー	94	23.3%	23.6%
5	幹部候補生	36	8.9%	9.0%
6	その他	14	3.5%	3.5%
	無回答	5	1.2%	
	N (%ベース)	403	100.0%	

(4) 今後(3~5年先)の人材確保の状況についてどのように予測されていますか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	人材が不足する、または不足が続く	272	49.2%	53.4%
2	必要な人材を確保できている、または適正な状況が続く	102	18.4%	20.0%
3	余剰人員が生じる、または余剰人員がいる状況が続く	6	1.1%	1.2%
4	わからない	119	21.5%	23.4%
5	その他	10	1.8%	2.0%
	無回答	44	8.0%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

3. 貴社の経営課題等の解決に向けた事業展開についてお伺いします。

下記の項目はどの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)	
1	新たな取引先の獲得に重点的に取り組んでいる	5	非常にあてはまる	51	9.2%	9.8%
		4	ややあてはまる	176	31.8%	33.9%
		3	どちらでもない	156	28.2%	30.1%
		2	あまりあてはまらない	86	15.6%	16.6%
		1	全くあてはまらない	50	9.0%	9.6%
			無回答	34	6.1%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
2	従来取扱いのなかった製品、技術、サービス等の開発や商品化を重点的に進めている	5	非常にあてはまる	29	5.2%	5.6%
		4	ややあてはまる	127	23.0%	24.6%
		3	どちらでもない	141	25.5%	27.3%
		2	あまりあてはまらない	127	23.0%	24.6%
		1	全くあてはまらない	92	16.6%	17.8%
			無回答	37	6.7%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
3	新規事業に必要な人材の確保（採用）に積極的に取り組んでいる	5	非常にあてはまる	14	2.5%	2.7%
		4	ややあてはまる	95	17.2%	18.4%
		3	どちらでもない	155	28.0%	30.1%
		2	あまりあてはまらない	128	23.1%	24.9%
		1	全くあてはまらない	123	22.2%	23.9%
			無回答	38	6.9%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
4	社内業務プロセスにおけるコスト削減に重点的に取り組んでいる	5	非常にあてはまる	40	7.2%	7.7%
		4	ややあてはまる	213	38.5%	41.2%
		3	どちらでもない	155	28.0%	30.0%
		2	あまりあてはまらない	86	15.6%	16.6%
		1	全くあてはまらない	23	4.2%	4.4%
			無回答	36	6.5%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
5	既存の製品、サービス等の生産性や品質の向上を重視している	5	非常にあてはまる	110	19.9%	21.4%
		4	ややあてはまる	255	46.1%	49.5%
		3	どちらでもない	89	16.1%	17.3%
		2	あまりあてはまらない	28	5.1%	5.4%
		1	全くあてはまらない	33	6.0%	6.4%
			無回答	38	6.9%	
			N (%ベース)	553	100.0%	

次ページに続く

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)	
6	既存の取引先との連携強化 や取引量の拡大に重点的に 取り組んでいる	5 非常にあてはまる	96	17.4%	18.6%
		4 ややあてはまる	249	45.0%	48.3%
		3 どちらでもない	118	21.3%	22.9%
		2 あまりあてはまらない	28	5.1%	5.4%
		1 全くあてはまらない	25	4.5%	4.8%
		無回答	37	6.7%	
		N (%ベース)	553	100.0%	
7	従業員の更なる能力向上に 積極的に取り組んでいる	5 非常にあてはまる	95	17.2%	18.4%
		4 ややあてはまる	278	50.3%	54.0%
		3 どちらでもない	97	17.5%	18.8%
		2 あまりあてはまらない	27	4.9%	5.2%
		1 全くあてはまらない	18	3.3%	3.5%
		無回答	38	6.9%	
		N (%ベース)	553	100.0%	

4. 貴社の職場風土等についてお伺いします。

下記の項目はどの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)	
1	日頃から一人ひとりのニー ズ・能力・希望を知るよう 努力している	5 非常にあてはまる	93	16.8%	17.5%
		4 ややあてはまる	302	54.6%	56.8%
		3 どちらでもない	112	20.3%	21.1%
		2 あまりあてはまらない	16	2.9%	3.0%
		1 全くあてはまらない	9	1.6%	1.7%
		無回答	21	3.8%	
		N (%ベース)	553	100.0%	
2	従業員にできる限り権限を 委譲したり、重要な決定に 参加させたりするようにし ている	5 非常にあてはまる	74	13.4%	13.9%
		4 ややあてはまる	287	51.9%	54.0%
		3 どちらでもない	118	21.3%	22.2%
		2 あまりあてはまらない	38	6.9%	7.2%
		1 全くあてはまらない	14	2.5%	2.6%
		無回答	22	4.0%	
		N (%ベース)	553	100.0%	
3	経営者が自ら先頭に立っ て、新しいアイデアや視点 を提案するようにしている	5 非常にあてはまる	93	16.8%	17.6%
		4 ややあてはまる	262	47.4%	49.5%
		3 どちらでもない	134	24.2%	25.3%
		2 あまりあてはまらない	27	4.9%	5.1%
		1 全くあてはまらない	13	2.4%	2.5%
		無回答	24	4.3%	
		N (%ベース)	553	100.0%	

次ページに続く

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)	
4	従業員に対して、旧来の方法に代わる新しいアイデアを出すことや色々なアイデアを提案することを奨励している	5	非常にあてはまる	76	13.7%	14.4%
		4	ややあてはまる	270	48.8%	51.1%
		3	どちらでもない	139	25.1%	26.3%
		2	あまりあてはまらない	28	5.1%	5.3%
		1	全くあてはまらない	15	2.7%	2.8%
			無回答	25	4.5%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
5	問題に直面しても、感情的にならず合理的な解決方法を見つけることを従業員に奨励している	5	非常にあてはまる	90	16.3%	17.0%
		4	ややあてはまる	291	52.6%	54.9%
		3	どちらでもない	128	23.1%	24.2%
		2	あまりあてはまらない	12	2.2%	2.3%
		1	全くあてはまらない	9	1.6%	1.7%
			無回答	23	4.2%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
6	従業員一人ひとりの個性等に配慮しながら、助言・指導するようにしている	5	非常にあてはまる	103	18.6%	19.4%
		4	ややあてはまる	319	57.7%	60.1%
		3	どちらでもない	88	15.9%	16.6%
		2	あまりあてはまらない	11	2.0%	2.1%
		1	全くあてはまらない	10	1.8%	1.9%
			無回答	22	4.0%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
7	異なる価値観や多様な考え方を、尊重しあえる環境となっている	5	非常にあてはまる	48	8.7%	9.1%
		4	ややあてはまる	276	49.9%	52.2%
		3	どちらでもない	167	30.2%	31.6%
		2	あまりあてはまらない	27	4.9%	5.1%
		1	全くあてはまらない	11	2.0%	2.1%
			無回答	24	4.3%	
			N (%ベース)	553	100.0%	
8	経営者自ら、外国人従業員と、積極的にコミュニケーションをとっている	5	非常にあてはまる	34	37.0%	37.8%
		4	ややあてはまる	40	43.5%	44.4%
		3	どちらでもない	12	13.0%	13.3%
		2	あまりあてはまらない	3	3.3%	3.3%
		1	全くあてはまらない	1	1.1%	1.1%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
9	日本人従業員には、職場の仲間として外国人材を受け入れている、あるいは、受け入れようとする意識が育っている	5	非常にあてはまる	47	51.1%	52.2%
		4	ややあてはまる	35	38.0%	38.9%
		3	どちらでもない	7	7.6%	7.8%
		2	あまりあてはまらない	1	1.1%	1.1%
		1	全くあてはまらない	0	0.0%	0.0%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	

次ページに続く

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)
10	日本人と外国人の従業員同士で、仕事だけでなく、仕事以外でも積極的にコミュニケーションをとっている	5 非常にあてはまる	26	28.3%	29.2%
		4 ややあてはまる	38	41.3%	42.7%
		3 どちらでもない	21	22.8%	23.6%
		2 あまりあてはまらない	3	3.3%	3.4%
		1 全くあてはまらない	1	1.1%	1.1%
		無回答	3	3.3%	
		N (%ベース)	92	100.0%	
11	外国人従業員同士で、仕事以外でも積極的にコミュニケーションをとっている	5 非常にあてはまる	13	24.5%	26.5%
		4 ややあてはまる	23	43.4%	46.9%
		3 どちらでもない	11	20.8%	22.4%
		2 あまりあてはまらない	1	1.9%	2.0%
		1 全くあてはまらない	1	1.9%	2.0%
		無回答	4	7.5%	
		N (%ベース)	53	100.0%	

※ (8) ~ (11) は外国人を雇用している場合のみ回答

※ (11) は、複数の外国人を雇用している場合のみ回答(【6】(2)で2人以上外国人を雇用している事業所の回答を採用)

5. 貴社における外国人従業員の雇用についてお伺いします。(ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。)

(1) 現在、外国人従業員を雇用していますか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	現在、雇用しておらず、今後も雇用を考えていない	354	64.0%	70.2%
2	現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中	58	10.5%	11.5%
3	現在、雇用している	92	16.6%	18.3%
	無回答	49	8.9%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

【6】～【10】は、【5】で「3 現在雇用している」と回答された方にお伺いします。

6. 貴社が雇用している外国人従業員についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

(1) 貴社が雇用する外国人従業員の国籍はどこですか。（該当するもの全てに〇印）

No.	カテゴリー	件数	%（全体）	%（無回答除く）
1	中国（香港等含む）	14	13.2%	13.3%
2	ベトナム	55	51.9%	52.4%
3	韓国	3	2.8%	2.9%
4	ブラジル	5	4.7%	4.8%
5	ネパール	2	1.9%	1.9%
6	フィリピン	5	4.7%	4.8%
7	インドネシア	1	0.9%	1.0%
8	ペルー	3	2.8%	2.9%
9	その他	17	16.0%	16.2%
	無回答	1	0.9%	
	N（%ベース）	106	100.0%	

(2) 近年、貴社が雇用する外国人従業員数に変化はありますか。人数をご記入ください。

	外国人総数（人）	外国人雇用事業所数（所）
3年前	215	42
現在	367	92

注：本問は、【5】で「3. 現在（外国人従業員を）雇用している」を選択した事業所のみが回答。

(3) 貴社が雇用する外国人従業員の採用方法（ルート）は何ですか。（該当するもの全てに〇印）

No.	カテゴリー	件数	%（全体）	%（無回答除く）
1	ハローワークなどの公的職業紹介機関	17	15.5%	15.7%
2	民間の求人掲載サイト	14	12.7%	13.0%
3	外国人専門の求人掲載サイト	3	2.7%	2.8%
4	自社の外国人従業員、取引先、大学等からの紹介	15	13.6%	13.9%
5	技能実習監理団体（協同組合）	42	38.2%	38.9%
6	その他	17	15.5%	15.7%
	無回答	2	1.8%	
	N（%ベース）	110	100.0%	

(4) 貴社が雇用する外国人従業員の在留資格は何ですか。（該当するもの全てに〇印）

No.	カテゴリー	件数	%（全体）	%（無回答除く）
1	就労目的で在留が認められている者（専門的・技術的分野）	28	24.1%	24.3%
2	身分に基づき在留する者（定住者、永住者、日本人の配偶者等）	28	24.1%	24.3%
3	技能実習	42	36.2%	36.5%
4	特定技能	14	12.1%	12.2%
5	その他	3	2.6%	2.6%
	無回答	1	0.9%	
	N（%ベース）	116	100.0%	

(5) 貴社が雇用している外国人従業員が従事する業務は何ですか。（該当するもの全てに〇印）

No.	カテゴリー	件数	%（全体）	%（無回答除く）
1	専門的・技術的な業務	68	59.1%	59.6%
2	生産に関する業務	31	27.0%	27.2%
3	営業・販売に関する業務	3	2.6%	2.6%
4	通訳・国際的な業務	3	2.6%	2.6%
5	事務的な業務	2	1.7%	1.8%
6	その他	7	6.1%	6.1%
	無回答	1	0.9%	
	N（%ベース）	115	100.0%	

(6) 貴社では、雇用している外国人従業員に具体的にどのような支援を行っていますか。
 (該当するもの全てに〇印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	日本語の修得支援	29	16.3%	16.3%
2	外国人従業員を対象とした専門の相談員の配置	15	8.4%	8.4%
3	住宅斡旋等の支援 (社宅、社員寮等)	54	30.3%	30.3%
4	在留資格、納税、社会保険等各種手続きの支援	53	29.8%	29.8%
5	特にない	17	9.6%	9.6%
6	その他	10	5.6%	5.6%
	無回答	0	0.0%	
	N (%ベース)	178	100.0%	

7. 貴社が外国人従業員の雇用を開始した主な理由についてご記入ください。

(1) 貴社が外国人従業員を雇用するようになった当初の主な理由は何ですか。(該当するもの全てに〇印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	人材不足を解消するため(雇用に関し、外国人か日本人かは不問)	81	46.8%	46.8%
2	事業継続のため必要だと考えたから	13	7.5%	7.5%
3	日本人を採用したいができないから	23	13.3%	13.3%
4	外国人ならではの能力が必要だから	9	5.2%	5.2%
5	新たな事業展開を行うにあたり、戦力として必要だから	11	6.4%	6.4%
6	他社が雇用していたので、一度雇用してみようと思ったから	22	12.7%	12.7%
7	日本人を雇用するより人件費を抑えられると思ったから	11	6.4%	6.4%
8	その他	3	1.7%	1.7%
	無回答	0	0.0%	
	N (%ベース)	173	100.0%	

8. 外国人従業員を雇用したことによる、社内での変化についてお伺いします。

下記の項目はどの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに〇印を付けてください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)	
1	新しいアイデアが生まれやすくなった	5 非常にあてはまる	2	2.2%	2.2%
		4 ややあてはまる	17	18.5%	18.7%
		3 どちらでもない	45	48.9%	49.5%
		2 あまりあてはまらない	19	20.7%	20.9%
		1 全くあてはまらない	8	8.7%	8.8%
		無回答	1	1.1%	
		N (%ベース)	92	100.0%	
2	相手の考えや価値観を尊重しようとする雰囲気生まれた	5 非常にあてはまる	6	6.5%	6.6%
		4 ややあてはまる	42	45.7%	46.2%
		3 どちらでもない	35	38.0%	38.5%
		2 あまりあてはまらない	7	7.6%	7.7%
		1 全くあてはまらない	1	1.1%	1.1%
		無回答	1	1.1%	
		N (%ベース)	92	100.0%	

次ページに続く

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)	
3	助け合いの職場風土が生まれた	5	非常にあてはまる	7	7.6%	7.8%
		4	ややあてはまる	43	46.7%	47.8%
		3	どちらでもない	34	37.0%	37.8%
		2	あまりあてはまらない	5	5.4%	5.6%
		1	全くあてはまらない	1	1.1%	1.1%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
4	新たな販路の開拓や事業運営面に良い影響が生じている	5	非常にあてはまる	1	1.1%	1.1%
		4	ややあてはまる	17	18.5%	18.7%
		3	どちらでもない	43	46.7%	47.3%
		2	あまりあてはまらない	17	18.5%	18.7%
		1	全くあてはまらない	13	14.1%	14.3%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
5	新しい事業に取り組む機運が高まった	5	非常にあてはまる	3	3.3%	3.3%
		4	ややあてはまる	10	10.9%	11.0%
		3	どちらでもない	44	47.8%	48.4%
		2	あまりあてはまらない	22	23.9%	24.2%
		1	全くあてはまらない	12	13.0%	13.2%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
6	誰もが働きやすいよう、作業工程やマニュアル等の見直しが進んだ	5	非常にあてはまる	2	2.2%	2.2%
		4	ややあてはまる	29	31.5%	31.9%
		3	どちらでもない	41	44.6%	45.1%
		2	あまりあてはまらない	13	14.1%	14.3%
		1	全くあてはまらない	6	6.5%	6.6%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
7	従業員のモチベーションが高まった	5	非常にあてはまる	2	2.2%	2.2%
		4	ややあてはまる	23	25.0%	25.3%
		3	どちらでもない	52	56.5%	57.1%
		2	あまりあてはまらない	12	13.0%	13.2%
		1	全くあてはまらない	2	2.2%	2.2%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
8	気を使わなければならない事が増えた	5	非常にあてはまる	8	8.7%	8.8%
		4	ややあてはまる	34	37.0%	37.4%
		3	どちらでもない	25	27.2%	27.5%
		2	あまりあてはまらない	15	16.3%	16.5%
		1	全くあてはまらない	9	9.8%	9.9%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	

次ページに続く

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)	
9	意思の疎通が困難になった	5	非常にあてはまる	3	3.3%	3.3%
		4	ややあてはまる	22	23.9%	24.2%
		3	どちらでもない	33	35.9%	36.3%
		2	あまりあてはまらない	23	25.0%	25.3%
		1	全くあてはまらない	10	10.9%	11.0%
			無回答	1	1.1%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
10	社内に外国人従業員が特別扱いされているという不満が生まれた	5	非常にあてはまる	1	1.1%	1.1%
		4	ややあてはまる	3	3.3%	3.4%
		3	どちらでもない	20	21.7%	22.7%
		2	あまりあてはまらない	25	27.2%	28.4%
		1	全くあてはまらない	39	42.4%	44.3%
			無回答	4	4.3%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
11	社内に活気が生まれた	5	非常にあてはまる	5	5.4%	5.6%
		4	ややあてはまる	31	33.7%	34.8%
		3	どちらでもない	45	48.9%	50.6%
		2	あまりあてはまらない	6	6.5%	6.7%
		1	全くあてはまらない	2	2.2%	2.2%
			無回答	3	3.3%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
12	外国人従業員の活躍により、経営上の成果が出始めた	5	非常にあてはまる	4	4.3%	4.5%
		4	ややあてはまる	25	27.2%	28.1%
		3	どちらでもない	39	42.4%	43.8%
		2	あまりあてはまらない	14	15.2%	15.7%
		1	全くあてはまらない	7	7.6%	7.9%
			無回答	3	3.3%	
			N (%ベース)	92	100.0%	

9. 貴社が雇用する外国人従業員の雇用満足度についてお伺いします。

下記の項目はどの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.	カテゴリー		件数	% (全体)	% (無回答除く)	
1	仕事に対する意欲・勤勉さ	5	とても満足である	28	30.4%	31.1%
		4	やや満足である	49	53.3%	54.4%
		3	どちらでもない	12	13.0%	13.3%
		2	やや不満である	1	1.1%	1.1%
		1	非常に不満である	0	0.0%	0.0%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
2	協調性	5	とても満足である	15	16.3%	16.7%
		4	やや満足である	47	51.1%	52.2%
		3	どちらでもない	23	25.0%	25.6%
		2	やや不満である	5	5.4%	5.6%
		1	非常に不満である	0	0.0%	0.0%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
3	業務遂行能力	5	とても満足である	14	15.2%	15.6%
		4	やや満足である	46	50.0%	51.1%
		3	どちらでもない	27	29.3%	30.0%
		2	やや不満である	3	3.3%	3.3%
		1	非常に不満である	0	0.0%	0.0%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
4	コミュニケーション	5	とても満足である	13	14.1%	14.4%
		4	やや満足である	32	34.8%	35.6%
		3	どちらでもない	35	38.0%	38.9%
		2	やや不満である	8	8.7%	8.9%
		1	非常に不満である	2	2.2%	2.2%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	
5	職場への定着率	5	とても満足である	25	27.2%	27.8%
		4	やや満足である	42	45.7%	46.7%
		3	どちらでもない	17	18.5%	18.9%
		2	やや不満である	4	4.3%	4.4%
		1	非常に不満である	2	2.2%	2.2%
			無回答	2	2.2%	
			N (%ベース)	92	100.0%	

10. 今後の外国人従業員の雇用に対する考え方についてご記入ください。

(1) 今後、外国人従業員の雇用について、貴社ではどのようにお考えですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	外国人の雇用を今より増やしたい	15	16.3%	16.7%
2	外国人の雇用を現状程度維持したい	46	50.0%	51.1%
3	外国人かどうかは考慮しない	26	28.3%	28.9%
4	外国人の雇用を今より減らしたい	3	3.3%	3.3%
	無回答	2	2.2%	
	N (%ベース)	92	100.0%	

(2) 上記(1)で「1 外国人の雇用を今より増やしたい」又は「2 外国人の雇用を現状程度は維持したい」と回答された方にお伺いします。今後、貴社ではどのような外国人従業員を雇用したいと考えていますか。(最も重視すること1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	長期間就業できる人材	23	37.7%	41.8%
2	日本語能力が高い人材	13	21.3%	23.6%
3	業務に役立つスキルのある人材	12	19.7%	21.8%
4	就労活動に制限のない在留資格をもった人材	6	9.8%	10.9%
5	その他	1	1.6%	1.8%
	無回答	6	9.8%	
	N (%ベース)	61	100.0%	

【11】は3ページ【5】で、「1 現在雇用しておらず、今後も雇用を考えていない」または「2 現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中」と回答された方にお伺いします。

11. 外国人従業員の雇用経験や今後の雇用意向についてお伺いします。

(1) 過去に、外国人従業員を雇用していましたか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	ある	49	11.9%	12.5%
2	ない	342	83.0%	87.5%
	無回答	21	5.1%	
	N (%ベース)	412	100.0%	

(2) 現在、外国人従業員を雇用していない、又は過去に雇用したことがない理由は何ですか。
(該当するもの全てに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	技術や技能が十分に身に付けられないから	52	6.5%	6.8%
2	研修や教育に手間がかかるから	97	12.2%	12.7%
3	コミュニケーションをとりづらいから	128	16.1%	16.8%
4	自社の事業内容にあわないから	83	10.5%	10.9%
5	社内の受け入れ態勢が整っていないから	151	19.0%	19.8%
6	日本人従業員だけで必要な人材が確保できているから	146	18.4%	19.1%
7	在留期間に限りがあるから	66	8.3%	8.6%
8	その他	41	5.2%	5.4%
	無回答	30	3.8%	
	N (%ベース)	794	100.0%	

(3) 外国人従業員に期待する役割について貴社ではどのようにお考えですか。(最も近いもの1つに○印) ※この項目は【5】で「2 現在、雇用していないが、新たに雇用することを検討中である」と回答された方のみ、お答えください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	人材不足の解消	32	55.2%	71.1%
2	新たな販路の開拓	3	5.2%	6.7%
3	新しいアイデアや製品、技術の開発	1	1.7%	2.2%
4	会社(組織)の活性化	3	5.2%	6.7%
5	日本人従業員のコミュニケーション能力等のスキル向上	5	8.6%	11.1%
6	その他	1	1.7%	2.2%
	無回答	13	22.4%	
	N (%ベース)	58	100.0%	

【12】は、すべての方にお伺いします。

12. 本市に設置された「外国人総合相談センター」やその他の施策について、ご記入ください。

(1) 令和3年5月10日に本市に設置された「外国人総合相談センター」をご存知ですか。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	知っている	34	6.1%	6.5%
2	知らなかった	492	89.0%	93.5%
	無回答	27	4.9%	
	N (%ベース)	553	100.0%	

(2) 経営者として、外国人の雇用に関して行政・地域に望むことは何ですか。(該当するもの全てに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答除く)
1	外国人雇用に関する公的なセミナーがあれば参加したい	54	7.2%	11.3%
2	外国人雇用の成功事例があれば知りたい	94	12.6%	19.6%
3	業務に関する専門的な用語等を解説した多言語の教材がほしい	63	8.4%	13.1%
4	外国人雇用に関する個別相談の窓口を設置してほしい	67	8.9%	14.0%
5	外国人の雇用時における生活準備に関する支援(不動産契約等、各種手続きなど)を実施してほしい	118	15.8%	24.6%
6	日常業務で使用する通訳機器の購入補助の制度を創設してほしい	84	11.2%	17.5%
	無回答	269	35.9%	
	N (%ベース)	749	100.0%	

(3) 外国人材の活用に関する課題・問題点、その他要望等についてのご意見をお書きください。(自由記述欄)

【記述内容は p23, 24 参照】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

以上